

校内授業研究会

《生活科・社会科》

7月15日(木)に4名の校外からの参観者を迎え、生活科と社会科の校内授業研究会が行われました。

今回は、本校の学習アプリの中でよく使用されているロイロノートとjamboardを活用した実践でした。それぞれのアプリの特徴をよく生かした実践が行われ、研究発表大会に向けて、さらに効果的な活用ができるように小グループで活発な議論を重ねながら、研究を進めています。



夏休みまでに全クラスで研究授業が行われ、一人一台のタブレット端末が普段の授業の中で当たり前のように活用される雰囲気が出来上がりました。

タブレット端末の活用を5月から始めましたので、2か月半という短い期間でどの教室でも活用が進んでいます。

この次の段階として、昨年度までの授業づくりについての研究をふまえた、一歩先をいく授業づくりを研究していきたいと思えます。10月のオンライン研究発表大会にはぜひ多くの先生方の参加をお待ちしております。

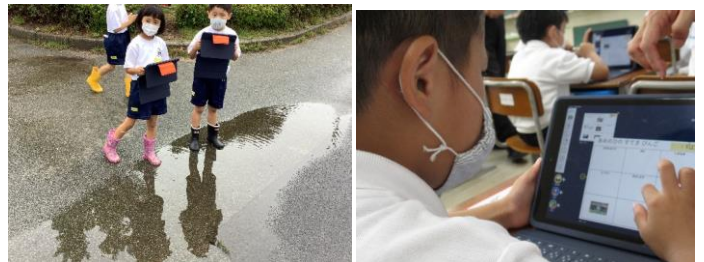
《生活科》

1年生の生活科では、「きせつとあそぼう」の学習をしました。

雨の日や雨あがりの日ならではの「すてき」を見付けに探検に出かけました。一人一人が見付けた「すてき」をタブレットで撮影し、その写真や動画をビンゴカードにまとめていきました。

タブレットを使用することで、短時間でたくさんの発見をカードに収めることができました。また、写真や動画に説明を書き加えたり、思ったことを音声で追加したりすることができ、表現の幅が広がりました。

今後は、タブレットで表現する良さと紙に書く良さを整理し、自分の表現したいことにあわせて手段を選ぶことができるように取り組んでいきたいと思えます。



《社会科》

4年生の社会科では、「ごみの処理と利用」の学習を行いました。

資料から不燃物を処理するリサイクルプラザの役割と再利用の方法などについて調べ、話し合いました。

情報収集の場面ではタブレットを利用し、話し合いの場面では付箋と画用紙を使った直接対話を重視して、ICTとアナログを両立させることを意識しました。子供たちは、意欲的に追究し、活発に話し合いを進め、グループで発表内容をまとめました。

まとめた内容は、プレゼンテーションで皆に説明し、互いにプレゼンテーションの内容を比較し、共有し、学びを深めました。

次々に重要であると感じる情報を拾い出し、積極的に話し合う姿、そして、筋道を立てながらプレゼンテーションをする子供たちの姿がとても素敵でした。

今後も共に学びを深めていきたいと思えます。

